

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年9月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（20名）

委員長	五味武彦君	副委員長	松井豊君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	清水和弘君		横山洋介君
	金丸幸司君		滝川美幸君
	金丸寛君		赤澤厚君
	小澤重則君		清水正二君
	斉藤芳夫君		有泉庸一郎君
	山本英俊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		保坂芳子君

欠席委員（なし）

傍聴議員（1名）

議長 長谷部 集 君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	興石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

審査内容

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選

開会 午前10時58分

○書記（輿石文明君） それでは、ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、先ほど議長より招集がありましたとおり、案件につきましては正副委員長の互選となります。

臨時の委員長につきましては、委員会条例により、年長の金丸寛委員にお願いをいたしますのでよろしくお願いいたします。

それでは、金丸委員、よろしくお願いいたします。

○仮委員長（金丸 寛君） 多少開会が遅れましたけれども、本日の委員会は決算審査特別委員会設置後の初めての委員会でありますので、委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が決まるまでの間、年長の私が委員長の職を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから決算審査特別委員会を開会いたします。

○仮委員長（金丸 寛君） これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

委員長の互選については、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（金丸 寛君） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

それでは、いかがいたしましょうか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 委員長には、五味武彦委員を推薦いたします。よろしくお願いいたします。

○仮委員長（金丸 寛君） ただいま藤原委員から、五味武彦委員の推薦がありました。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（金丸 寛君） ご異議なしと認めます。

それでは、委員長を指名いたします。

決算審査特別委員会委員長には、五味武彦委員を指名いたします。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（金丸 寛君） ご異議なしと認めます。

よって、決算審査特別委員会委員長には五味武彦委員が当選されました。

ただいま当選なされました五味武彦委員長より、就任の挨拶がございます。

ここで委員長と交代をさせていただきます。

○委員長（五味武彦君） ただいま、委員の皆様より委員長の指名推選いただきました五味武彦でございます。よろしくお願ひいたします。

微力ではありますが、円滑な委員会運営、努めてまいるつもりでございます。委員各位のご協力よろしくお願ひします。

また改めて、1期の方々、前列にお座りの5人の方ですか、初めての経験だと思いますが、ぜひ慎重な意見等々要望とか、いろんなご意見出していただければ活発な運営が図られるかなというふうに思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

引き続き、副委員長の互選を行いたいと思います。

副委員長の互選も委員長と同様、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めさせていただきます。

したがいまして、副委員長の互選は、指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りをさせていただきます。

副委員長の指名方法は委員長において指名することにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長の指名方法は、委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、副委員長を指名させていただきます。

副委員長には松井委員をご指名させていただきます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認め、副委員長には松井委員が当選されました。

ただいま当選されました松井副委員長より就任のご挨拶がございます。

○副委員長（松井 豊君） ご指名いただき、賛同いただきました松井です。

初めての経験ですが、皆様のご協力をいただきまして、充実した決算審査ができますようよろしくお願いいたしますと思います。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 副委員長のご活躍をご期待申し上げます。

次に、審査日程について事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、お手元の審査日程案、横判の1枚物お願いいたします。

決算審査につきましては、あす20日から27日までの5日間で行います。いずれも午前9時30分開会でございます。あす20日木曜日は一般会計の歳出で、企画政策部長の概要説明から敷島双葉支所までとなります。翌21日金曜日が秘書政策課から健康増進課まで、週が明けまして25日火曜日が環境課から教育総務課まで、翌26日水曜日が学校教育課から歳入となります。翌27日木曜日が特別会計と水道事業会計の審査となります。28日金曜日につきましては、委員会の予備日でございます。

あすから、お配りしてあります審査日程（予定）、こちら続きになっていますけれども、これによりまして審査のほうを行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

○委員長（五味武彦君） それでは、委員より、この件につきまして質疑、ご意見ありましたら、お願いいたします。

ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、質疑終了させていただきます。

それでは、この日程により行うことに決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、そのように決定させていただきます。

以上で審査日程についてを終わります。

次に、本委員会への付託事項の平成31年度当初予算への要望に関することについては、昨年度に引き続き5回目となります。今回も、各常任委員会及び特別委員会において所管する事業に対する要望を取りまとめていただきます。本委員長名で市当局に提出したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、そのように進めさせていただきます。

それでは、お手元にお配りした別紙の要望書、あると思います、により、所管する常任委員会及び特別委員会の事業で、最重点の事業を1人、1委員会について1事業を提案することにしたと思います。もう1回申し上げます。最重点の事業を1人、1委員会につき1事業を提案することにしたと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、そのように決定いたします。

なお、要望書の提出期限につきましては、10月5日金曜日になります。午前中までに事務局へ提出をお願い申し上げます。

また、提出後、各委員会を開催し、内容を精査していただきます。最終的には、決算審査特別委員会で取りまとめ、市長へ提出していきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 以上で、平成31年度当初予算への要望に関することについてを終わります。

以上をもちまして、決算審査特別委員会を閉会させていただきます。

ご苦労さまでございました。

閉会 午前11時08分